



共済会  
ミューチュアル・パートナー

— No. 23 —

昭和48年1月13日

第三種郵便物認可

HSK通巻第303号

1997年6月10日発行

毎月10日発行(一部100円)

(会費・協力会費に含まれています)

編集 財団法人北海道難病連十勝支部

発行 北海道身体障害者団体

定期刊行物協会(HSK)

# HSK

なんれん

# とかち



・・・ も く じ ・・・

- ・第24回全道集会のお知らせ... P 2~3
- ・なんとかニュース... P 4~5
- ・1996年度活動報告... P 6
- ・1996年度決算報告... P 7
- ・1997年度行事計画... P 8
- ・1997年度新役員紹介... P 9
- ・地域部会活動状況... P 10~13
- ・福祉機器情報... P 14~17
- ・ふれあい帯広利用状況... P 18
- ・パーキンソン病医療講演会... P 19
- ・事務局からのお知らせ... P 20~21

# 第24回 難病患者

参加お申し込みは、  
7月10日までに!!

参加お申し込みは  
十勝支部まで!!  
TEL 23699002

## 日 程

- 7/26(土) 全体集会 13:00~ (かでる2・7ホール)
- ・記念講演 「ハンセン病の歴史とらい予防法廃止の意義」
  - ・基調報告 ・患者・家族の訴え 他

- 7/27(日) 分科会 (かでる2・7ホール)
- 分科会開催予定団体—
- ・個人参加部会・乾癬部会・人工肛門膀胱部会
  - ・筋無力症部会・膠原病部会・てんかん部会
  - ・心臓病部会・パーキンソン病部会・肝炎部会
  - ・ダウン症部会・ALS部会・もやもや病部会
  - ・ベネチット病部会・後継靭帯骨化病部会
  - ・脊髄小脳変性症部会・多発性硬化症部会
  - ・橋本病部会・側わん症部会・IBD部会

♥ 宿泊費は¥8,500ですが、十勝支部から補助があります。  
十勝支部では、札幌往復のバスを用意しています。  
帯広市内(P有)の所から出発予定ですが、集合場所・時間  
は、後日連絡します。沢山の方の参加をお待ちしています。

# 障害者と家族の全道集会

— 協賛広告のご協力について —

この全道集会を成功させるためにも沢山の協賛ご寄付や、集会プログラムの協賛広告のご支援を賜りますようお願い致します。

## プログラム協賛広告料金表

<標準サイズ>	27ミリ×72ミリ	9,000	(1ページ16コマ)
<倍サイズ>	54ミリ×72ミリ	15,000	(1ページ8コマ)
<2分の1サイズ>	108ミリ×144ミリ	50,000	
<1ページ(B5)>	216ミリ×144ミリ	100,000	

★協賛社名、住所、電話番号、担当課(者)名と広告サイズ、及び原稿内容をご連絡下さい。

★指定文字、マーク入り、地紋、アミ目使用、写真版の使用などは、版下を提供いただくか、別途版下料(1ページ¥4,000~¥8,000)が必要です。

★カラー印刷はできません。

協賛広告のメセロ日を製作準備の都合により、97年6月30日とさせていただきます。

★協賛各社(個人)には、プログラム一部を贈呈いたします。

※ご不明な点につきましては、下記へご連絡下さい。

《問い合わせ先》

帯広市西5条南13丁目19-2  
(財)北海道難病連 十勝支部事務局  
TEL 23-6602 FAX 23-7071

\* \* \* \* \*

\* 本 別 保 健 所 \*

\* 特 定 疾 患 懇 談 会 参 加 \*

\* \* \* \* \*

3月25日、本別保健所主催の第9回特定疾患懇談会が、本別町健康管理センターにて開催されました。

講師に、北海道難病連常任理事・三森礼子さんが招かれ「療養生活を前向きに送るために」と題した講演が行われました。

三森さんの体験をまじえながら、ユーモラスに、また、出席された方々へ日常の中での不安、悩み、そして、その解消方法を問いかけるなど、参加された方と一体となった和やかな雰囲気の中での講演でした。

講演の後の交流会では、大変な難病を抱える方が多くいらっしゃったことにも驚きました。

皆さんが、前向きに療養生活を送るための本別保健所でのこのような交流会への取り組みに、同じ患者として心強いものを感じるものでした。

(荒尾)

\* \* \* \* \*

\* 北海道難病連1997年度定期総会参加 \*

\* \* \* \* \*

各団体の物故会員・家族に対して黙禱。

代表理事・矢野肇氏挨拶、ご来賓挨拶に続き評議員より議長選出(大澤久子氏)されました。1996年度の活動をふりかえって、伊藤事務局長が薬害エイズ、公的介護保険、脳死、遺伝子治療、ヘルプ日本大使館人質等について話されました。その後、1996年度の報告があり「私たちの活動がある限り、声を出していく限り、我国の社会もきっと明るい側面がもっと明るくなり、社会制度も経

験を重ねながら、より良い方向へと発展していくに違いありません。全ての患者、全ての人の人たちの人間としての尊厳が大切にされる社会となることを心から願って、私たち自身がよく友、よき仲間であることを信じて、共に手をつないでがんばりましょう。」としめられ、新旧役員挨拶、事務局員紹介、閉会の挨拶で本日の日程が終了しました。

短時間で皆さん、本当にお疲れさまでした夕食の交流会では、更科さんの進行でクジ引きで席につき、食事もおいしく食べ、ゲームをし、1日の疲れがとれ、みんな楽しく過ごしました。

私は、南松山の田畑和子様と部屋が同室でこの方はとても活動している方で、いろいろと話をしながら、自分はまだまだ勉強が足りないということを反省しました。

第2日目は、特定疾患等の在宅療養者の生活の質の向上を図るため、効果的な口腔ケアのあり方を検討し、在宅療養者の自立と、介護者が適切なケアを提供できるように支援することを目的とする、訪問口腔ケア推進事業について説明がありました。この事業は、保健所を主体とし、原則として保健所が把握する特定疾患等の在宅療養者に実施する。

実施内容は、保健婦が訪問している在宅療養者の中で、神経難病等により口腔機能の低下を伴う者または、口腔ケアが必要と思われる者に対し、保健所歯科医師及び歯科衛生士が訪問し歯科診療、口腔衛生指導を行い、介護者、ヘルパー等を対象に在宅療養者への歯科保健の必要性と口腔ケアの方法を普及啓発し、在宅療養者の口腔内の状況調査を行い、介護支援者である家族等の口腔ケアに対する意識調査を行う事業ということです。

昼食のお弁当を食べ2日間の日程を終了しました。ご苦労様でした。

(成田)

\* \* \* \* \*  
池田保健所

\* \* \* \* \*  
特定疾患々者・家族交流会参加

保健所の中島保健婦さんの司会で会合は進められました。

まず、本日の講師、ひがし十勝病院・地域保健活動課長の富士英子氏の「野菜主役の春の料理」の試食から始まりました。

講話の主な内容は、次の通りです。

青森県で長い間、地域保健に関わったり、高校で指導をしたりして来た方です。

①食生活と病気→食べ物が片寄ったり、塩分、糖分、脂肪などが過剰になると病気のひきがねになる。

②病院の態度、考え方→スモンとのかかわりの中で自分が勤めていた病院は、キノホルムの使用を認めて、患者の立場にたったが、病院によっては、それを認めなかった。病院にも良い病院と悪い病院がある。

③「健康食品」について→例えば、健康食品のことで、“これさえ食べていると絶対大丈夫”というようなことを言っているが、その人の体質によって合う場合と、そうでない場合がある。薬膳料理も、誰にでも同じ物が合うということではない。

④今どきの食生活について→今の若い人の食生活は、とても良くないと思っている。やがて「母」になる女子高生などの食生活は、とても心配である。朝食をとらない習慣、スナック菓子のとりすぎ、不規則な生活 etc...

⑤「がん」をひきおこす食生活→もともと、「がん」の細胞は、誰にでもあるもの、それがあるキッカケで活動を始めるか、どうかということ。食品からとるビタミンE、ビタミンCがこれを抑える。ビタミンA、カロチンも同様な働きがある。(免疫力アップの食べ方、暮らし方)

⑥ストレスは、免疫力を低下させる→精神的なストレス、身体的なストレス、どちらも長期間にわたると免疫力を低下させる。心理的なストレスが、大腸がんと関係があるという

報告もある。以上、本日の講師、富士英子氏の講話の概要です。

その後、懇談では食生活の話題を中心になりました。「健康管理と食生活」については最近、特に問題が多くなってきている。輸入の野菜は、どうしていつまでも新鮮なような姿をしているのでしょうか？殺虫剤は、どの段階で、どのように使用しているのでしょうか？残留農薬について、日本と外国との基準の違いは無いのでしょうか？etc... 問題はつきません。

また、キタキツネとエキノコックス症のこと、庭先まで姿を現すが大丈夫か？病気を防ぐためには、どんな知恵が必要か？など。

最後に係の人から「難病連の方に話をしてもらおう機会を作らなくてごめんなさい。次回は考えますので、またおいで下さい。」という挨拶がありました。

(山崎)

\* \* \* \* \*  
第18回十勝健康まつり参加

6月15日(日)、勤医協帯広病院にて開催された、十勝健康まつりに介護用品の展示で参加しました。

今回は、リウマチの方などの生活に便利な用品を中心に、食事、入浴、歩行支援、靴関連の展示でした。その中でも、リウマチ等で痛みや、むくみでつらい思いをされている方が靴を探すために、ご苦労されている話を多く聞き、業者の協力を得て、身近では手にすることのできない、靴の展示をすることができました。靴は、実際にはいてみなければわからないこともあり、業者の協力に感謝です。

また、これからも生活の中で、このようなものがあったら便利というもの、手に入れないものなど、注意深く耳を傾けながら、展示の機会を多くもつことが必要であることを実感した健康まつりの参加でした。

(荒尾)

1996年度  
十勝支部活動報告

月日	活 動	会 場	参加人数	備 考
4/14	第14回十勝肝ガン検診参加	総合福祉センター	2	
5/18~19	北海道難病連総会出席	難病センター	3	
5/26	第4回パーキンソン病友の会総会出席	とかちプラザ	2	
6/10	H S KなんれんとかちNo.20 発行			1,050部
6/12	第1回十勝支部役員会	支部事務所	13	
6/16	十勝健康まつり参加	勤医協病院	2	
6/20	池田保健所患者・家族交流会	池田保健センター	1	
7/7	ふれあい広場リサイクルバザー参加	グリーンパーク	5	
7/22	第2回十勝支部役員会	支部事務所	9	
8/3~4	第23回全道集會参加	北見	15	
8/5	北海道障害者会議出席	札幌かでの2・7	1	
8/20	第3回十勝支部役員会	支部事務所	10	
9/5	新得保健所特定疾患交流会参加	新得公民館	2	
9/8	難病無料検診参加	清水日赤病院	2	福祉機器展示
9/10	H S KなんれんとかちNo.21 発行			1,100部
9/12	池田保健所特疾交流会参加	浦幌公民館	2	
9/22	第9回十勝に患者会のない患者家族交流会	イエスタディー	20	
9/22	第4回十勝支部役員会	イエスタディー	9	
10/5	J P C 全国一斉街頭署名行動実施	藤丸ふれあい広場	7	
11/1	池田保健所特疾交流会参加	豊頃	2	
11/21~26	第19回生きがい広場参加	藤丸デパート	2	福祉機器展示
12/1	障害者の日ふれあい広場参加	総合福祉センター	6	福祉機器展示
12/1	北海道障害者会議出席	札幌かでの2・7	1	
12/1~2	第16回全道支部協議会出席	難病センター	1	
12/12	第5回十勝支部役員会	支部事務所	10	
12/13	新得保健所特疾交流会参加	御影	1	講演
12/20	十勝支部・帯広営業所交流会	エルパソ	14	
2/8~9	十勝地区支部役員研修会参加	筒井ホテル	8	
2/24	第6回十勝支部役員会	支部事務所	11	
3/10	H S KなんれんとかちNo.22 発行			1,100部
3/15~16	十勝支部経理打合せ	難病センター	1	
3/17	広尾保健所患者結成総会	広尾保健センター	1	
3/20	北海道障害者会議出席	札幌かでの2・7	1	
3/25	本別保健所交流会	本別保健センター	1	講演
	コンサートチケット販売	2月・8月	全道集會協賛広告取り組み	
6月~7月	花火セット販売	10月~3月	J P C 国会請願署名募金	
6月	全道集會協賛広告取り組み	11月~12月	お正月飾り販売	

1996年度  
十勝支部決算報告

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
支部運営助成金	190,000	支部役員会	43,266
市町村補助金	100,000	会 議 費	21,110
その他の助成金	0	全 道 集 会	75,466
参加費収入	20,000	医療講演会	0
寄付金収入	1,018,247	検診相談会	0
協力会還元金	66,000	機関紙・誌費	193,048
募金箱還元金	11,702	研 修 会	28,646
署名募金還元金	16,373	レク・交流会費	63,194
販売事業収入	48,537	活 動 費	43,770
その他事業収入	94,732	H S K 負担金	6,240
受取利息収入	61	事 務 局 費	79,727
雑 収 入	0	事務消耗品費	91,892
難病連事業参加助成	15,110	通 信 費	78,288
積立金取崩収入	200,000	交 通 費	7,980
前期繰越金	195,253	資 料 費	6,450
		雑 費	0
		備 品	8,430
		積立金支出	1,000,000
		次期繰越金	228,508
収入合計	1,976,015	支出合計	1,976,015

上記の件について、厳正なる監査の結果適正であることを報告いたします。

9 年 4 月 14 日

支部会計監査

氏 名 鈴木 茂 

氏 名 大道 睦子 

# 1997年度 十勝支部行事計画

月日	行事計画名	取 り 組 み	
4 13日	十勝地区肝ガン検診		
5 28日	十勝支部役員会	コンサートチケット販売	
6 中旬	なんれんとかちNo.23 発行	全道集会広告集め	花火セット販売
6 下旬	十勝支部役員会	↓	↓
7 中旬	十勝支部役員会		
7 26~27	全道集会		
8 23日	医療講演会 (パーキンソン)		募金箱回収
8 下旬	なんれんとかちNo.24 発行		
9 中旬	十勝支部役員会 合同レクリエーション 無料検診		
10 4日	JPC全国一斉街頭署名	国会請願署名募金	お正月飾り販売
10 中旬	十勝支部役員会	↓	↓
11 中旬	十勝支部役員会		
12 上旬	ふれあい広場バザー		
1 中旬	十勝支部役員会		
2 下旬	なんれんとかちNo.25 発行 十勝地区支部役員研修会		
3 中旬	十勝支部役員会		募金箱回収

# 十勝支部 新役員紹介

役職	名前	部会名
支部長	江口 美生男	肝炎友の会
副支部長	山崎 富士夫	小鳩会
事務局長	小野関 政子	筋無力症友の会
事務局次長	成田 愛子	あすなろ会
会計	平井 園子	膠原病友の会
会計監査	加藤 健爾	腎臓病患者会
"	大道 睦子	後継椎帯骨化症友の会
運営委員	山根 静子	パーキンソン病友の会
"	鈴木 茂	腎臓病患者会
"	内藤 雅勝	肝炎友の会
"	加藤 富江	二分脊椎症(見者)を守る会
"	荒尾 みや子	膠原病友の会
"	大野 ひとみ	"
"	福田 道信	多発性硬化症患者会
"	竹内 淑子	心臓病部会
"	加藤 登美子	リウマチ友の会
"	田中 広子	"

# 部 会 活 動 状 況

～ 1 9 9 7 年 度 体 制 と 活 動 ～

## パーキンソン病友の会

### 北海道支部帯広ブロック

- ・ 会 長 板谷 弘
- ・ 事務局長 山根 静子  
帯広市
- ・ 難病連運営委員 山根 静子

・ 会員数 57名 賛助会員 4名

- ・ 会報はまなす帯広4回発行
- ・ 医療講演会相談会開催
- ・ 役員交流会5回開催
- ・ 総会開催
- ・ 野遊会開催
- ・ 北海道支部総会に参加
- ・ なんれん全道集会参加
- ・ なんれん十勝支部各行事に参加
- ・ なんれん音更支部各行事に参加
- ・ 帯広保健所主催交流会に参加

## 北海道腎臓患者連絡協議会十勝地方腎友会

- ・ 会 長 鈴木 茂
- ・ 事務局長 岡崎由紀夫  
大樹町
- ・ 難病連運営委員 加藤 健爾  
鈴木 茂

・ 会員数 240名

1. 行事については、昨年と変わり無し。
2. 腎友会のマンネリ化を打破する論議（役員による）。
3. 患者が自発的に入会してくる様な腎友会のシステム作り。
4. 長期役員の解消と若がり策。



## 北海道ベーチェット病友の会帯広支部

- ・相談員 及川 次枝  
帯広市

昨年度から休会しています。

現在は、及川さんが十勝のベーチェット病の方々の相談員や北海道ベーチェット病友の会の連絡員をしています。



## 膠原病友の会北海道支部帯広地区

- ・代表 細川 英美
- ・会計 北風喜美江  
帯広市
- ・難病連運営委員 荒尾みや子  
平井 園子  
大野ひとみ
- ・会員数 25名

新名簿作り・手話・各自の趣味のアンケートなど



## 心臓病の子供を守る会 北海道支部帯広ブロック

- ・ブロック長 遠藤 郁恵
- ・事務局 野口 勝子  
池田町
- ・難病連運営委員 竹内 淑子
- ・会員数 10名

年に2回の交流会



## 北海道小鳩会帯広分会

・分会長 幸坂奈々枝  
帯広市

・難病連運営委員 山崎富士夫

・会員数 51名

例年の例会、施設見学、懇親会、大会、クリスマス会、ボーリング大会等に加え、今年度より月一回の低年齢児対象のリトミック指導を行う事になりました。

各行事の参加に年齢の大きい子が少ないので、呼びかけしたり、行事に工夫したりして、参加を増やしていきたいと思っています。

## リウマチ友の会北海道支部十勝連絡会

・会長 宇佐見チエ子  
・事務局 中村 恭子  
音更町

・難病連運営委員 加藤登美子  
田中 広子

・会員数 42名 賛助会員 3名

6月14日 道支部総会出席1名予定

8月 総会兼食事会

## 北海道後縦靱帯骨化症友の会十勝支部

・支部長 坂口 貫  
・事務局長 吉澤 一廣  
帯広市

・難病連運営委員 大道 睦子

・会員数 11名

初秋、10月中旬から11月初旬にかけ、毎年支部総会が開催されます。昨年度も同じ頃、ワシントンホテルにて開催されました。芽室の方が初めて参加されました。



## 北海道肝炎友の会十勝支部

・支部長 江口美生男  
・事務局 島 良之  
帯広市

・難病連運営委員 江口美生男  
内藤 雅勝

・会員数 150名



## 二分脊椎症児（者）を守る会帯広地区

・地区長 加藤十三雄  
帯広市

・難病連運営委員 加藤 富江

・会員数 7名



以上、十勝に患者会のある部会です。  
この10部会以外のことについては、  
十勝支部事務局が窓口になって  
おります。お気軽に連絡ください。



視覚に障害を持つみなさん  
困っていることはありませんか？



十勝視覚障害者生活福祉展

# ふれ愛ひろば 97

- ◆ 便利グッズてんこもり！ ◆
- ◆ 相談コーナーもあるよ！ ◆

【日 時】平成9年7月20日（日）  
午前10時から午後3時まで

【場 所】北海道帯広盲学校（入場無料）  
（帯広市西25条南2丁目9-1 TEL37-2028）

〈視覚に障害をもつみなさんへ〉 視覚に障害があることで、困っていることはありませんか？そして、そんなことを気楽に話し合ったり、相談にのっていただける方がいらっしゃいますか？ この催しは、視覚障害者の生活に役立つ最新の便利グッズや情報機器などを集めて展示し、いろいろな人達とふれあいながら、楽しんでいただけるお祭りです。視覚障害の専門家のご協力を得て様々なご相談にもお答えします。どうぞお気軽にご参加下さい。ぜひお知り合いの方にもお知らせ下さい。 <スタッフ一同>

この企画を成功させようと、一人一人の力が、今燃え上がりました。地域にこんなにも力強い方々がいて、身をおしまない協力や、裏方での心くばりに、胸が熱くなります。北海道難病連も実行委員に加わらせていただきました。

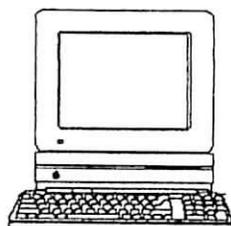


## どうして、この取り組みが？



十勝の福祉をさらに発展、充実させていくにはどうしたら良いか、視覚障害者、盲学校教師、ボランティア、了の有志の方々が暖めてきたそんな思いが、徐々に形になり、なにかうべんとを行いたいということになる。そして3月頃より、実行委員会の中心が作られ、視覚障害者の生活に役立つ福祉機器展を、ということになる。

## 生活福祉展の内容



### ○展示コーナー

- (日常生活用具) ・ 音声付体温計、体重計、電磁調理器、便利用品
- (点字用具) ・ 点字用紙、点字盤、点筆、点字タイプライター他
- (弱視関係用具) ・ 近用(ルーペ)、遠用(単眼鏡)、拡大読書機、他
- (各種白杖) ・ 直杖、折り畳み式白杖、他
- (情報機器) ・ パソコンでの音声合成装置による普通文字入出力、拡大表示によるWINDOWSのデモ、他

### ○相談コーナー (相談は個室で実施)

日常生活で困っていること、歩行・日常生活訓練、給付申請等。

○盲導犬コーナー ○疑似体験コーナー ○喫茶・カレーコーナー、その他。

# 福祉制度を利用しましょう

在宅介護  
になれたとき。



ベッドや  
車イスは、



どんな制度  
があるのかな？



## 老人福祉法の日常生活用具

### 対象

身体障害者手帳を持っていないくても、必要な状況にあるおおむね65才以上の人で、在宅の人

生計中心者の前年度の所得税額により自己負担が決まる。

## 身体障害者手帳の日常生活用具

### 対象

身体障害者手帳を持っていて手帳に書かれている身体状況が該当する人で在宅の人

同居の直系血族の前年度所得税により算定され、自己負担が決まる。

## 身体障害者手帳の補装具

### 対象

身体障害者手帳を持っていて手帳に書かれている身体状況が該当する人

同居の直系血族の前年度所得税により算定され、自己負担が決まる。

## 申請するにはどうしたら？

- 1 ほしい機器がある
- 2 専門家に聞いて見る  
病院のケースワーカー  
役所の人、保健婦さん
- 3 業者に相談する  
制度でもらえるかどうか  
申請手続きを教えてもらう
- 4 受け付け窓口申請する
- 5 役所から連絡が来る
- 6 納品

## 福祉機器事業について

福祉機器事業帯広営業所の開設から、早7年目を迎えた『ふれあい帯広』です。北海道難病連による、全国でも先進的な立場でのさまざまな患者活動を通し、地域での活動も重要なものとなっており、活動の拠点となる場はどうしても必要です。その事務所を維持していく為には、患者自身が力を合わせ努力していくしかありません。

福祉機器事業による利益は、活動の拠点となる事務所の維持、経費と活動資金へ利用されています。そして地域活動という形に変えて広く還元していくものです。

### 《 ご寄付をいただきました 》

難病連の会員であった、斉藤芳雄様が、6月11日ご逝去され、ご家族より、困難な思いをされている方々に、役立てられたらと、介護用ベッドと車いすのご寄付をいただきました。

心よりご冥福をお祈りいたしますと共に、暖かいお心使いに深く感謝申し上げます。

6月16日

斉藤千恵子様より



#### 問い合わせ先

患者自身による患者さんのための福祉機器・介護用品ショップ  
財北海道難病連 福祉機器事業帯広営業所  
ふれあい帯広 帯広市西5条南13丁目  
電話 0155(23)6602  
営業時間 月～金 10:00～18:00

(福祉機器事業帯広営業所)

十勝支部事務所・ふれあい帯広利用者数及び内訳

1996年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
件数	97	169	153	174	125	153	122	106	193	153	181	215	1,841	
受付方法	来訪	24	31	26	35	14	28	24	10	27	19	21	45	304
	電話	45	78	56	65	48	68	49	50	70	72	76	73	750
	訪問	28	60	71	74	63	57	49	46	96	62	84	97	787
相談内容\件数	6	6	3	7	1	2	1	4	3	4	5	3	45	
病気について	1	1	2	1	1	1				1	1		9	
療養生活指導について														
専門病院・専門医紹介				2						1		1	4	
友の会について		1		1		1	1	1	1	1		1	8	
福祉機器について	1	3		3					1				8	
福祉制度について			1					2	1				4	
介護者からの相談	2												2	
社会復帰・就職について											4	1	5	
息抜きとして	2	1						1		1			5	
営業所利用内容\件数	67	135	117	135	110	129	106	91	156	129	160	165	1,500	
機器・用品問い合わせ (一般)	11	16	12	24	18	21	18	11	41	25	38	39	274	
・ (車いす)	7	6	4	9	11	7	8	1	18	8	13	11	103	
・ (ベッド)	6	6	23	15	8	4	5	8	10	13	4	2	104	
・ (入浴用品)	5	6	4	8	1	2	3	3	1	2			35	
・ (視・聴覚障害者用品)	15	22	12	6	9	12	3	4	5	10	14	26	138	
・ (レンタル)		1	1	2				1	2	3			10	
ショールーム見学				1			1						2	
市町村福祉課との連絡	7	21	20	26	24	37	27	21	22	27	20	25	277	
病院相談室との連絡・営業	6	36	33	30	27	24	20	17	33	23	37	35	321	
メーカー・業者との連絡	2	6	4	5	6	8	10	8	11	8	11	15	94	
事業部関係の連絡	6	12	1	4	6	10	8	5	4	6	7	5	74	
機器展・保健所・その他	2	3	3	5		4	3	12	9	4	16	7	68	
支部事務所利用内容\件数	24	28	33	32	14	22	15	11	34	20	16	47	296	
部会・会員・他支部からの連絡	11	9	17	5	8	9	7	3	17	16	12	25	139	
保健所からの連絡		3		2			1	2	1			2	11	
市町村からの連絡				1		1	1						3	
行事問い合わせ		1	5		2	2			13				23	
物品・季節物販売		1	1	19	2	1		3					27	
募金・寄付・署名・バザー品等	7	7	1	3		7	4	2	2	2	1	16	52	
部会での利用(打ち合わせ・コピー等)	1	2	6			1	2					2	14	
検診問い合わせ・その他	1	4	2		1			1					9	
本部より支部活動関係の連絡	4	1	1	2	1	1			1	2	3	2	18	

パーキンソン病  
医療講演会のお知らせ

・ 日時 1997年8月23日(土)  
PM 13:00～15:00

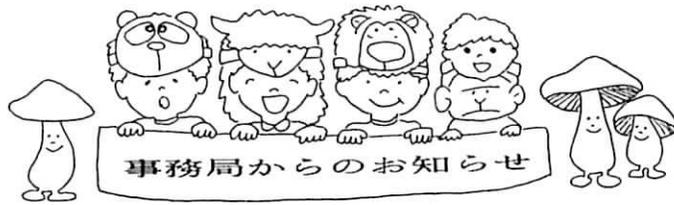
・ 場所 帯広市総合福祉センター  
(グリーンプラザ)

・ 講師 北海道大学医学部神経内科  
田代 邦夫 教授

・ 参加費 無料

相談会を重点においた、医療講演会  
にしたいと考えております。

お気軽にご参加ください。



♻️リサイクルバザー用品のご寄付をいただきました。

岩田正一様  
服部定美様

敦賀有里様  
すしの久田様

♻️リングプールの回収にご協力いただきました。

伏見身利様

加藤鍼灸院様

ご協力、本当にありがとうございました。

# FANTASTIC 今年の夏の思い出づくり

子供会などでもお役に立つ  
花火セットです。



ジャンボセット  
¥2,500



銀河セット  
¥1,200



ちゅうちんセット  
¥500

•還元金の30%を、部会へ還元します。ご協力を!!

北海道難病連

## 協力会員募集

将来の安定した財源確保のためには、毎年1口2,000円の  
寄付を下さる協力会員が1万人必要です。

2分の1が支部の収入になります。

協力会にお入り下さいますようお願い致します。

お申し込み先・・・北海道難病連十勝支部 ☎23-6602

## あ と が き

太陽の姿を見ない日が、ずーと続いていきましたが、  
やっと、十勝らしい青空が出て来ましたね。

「なんれんとかち」は、なるべく暖かみのある手書きで!!  
というのが基本なのですが、時間がなく今回は、かな  
りワープロさんによってしまいました。

でも、やっぱりワープロさんの方が見やすい!!

新役員が決まり、事務局長という役を受けること  
になりました。全々、うつわではなく、まだまだ  
勉強不足、経験不足でたりない所が沢山あると思っ  
ますが、皆さんにお力を頂きながら、やっていけれ  
ばと思っています。

(ま)



帯広市西5条南13丁目19-2  
TEL (0155) 23-6602  
FAX (0155) 23-7071

■オープン時間  
AM10:00~PM6:00 (月~金)

※土・日・祝日はお休み。

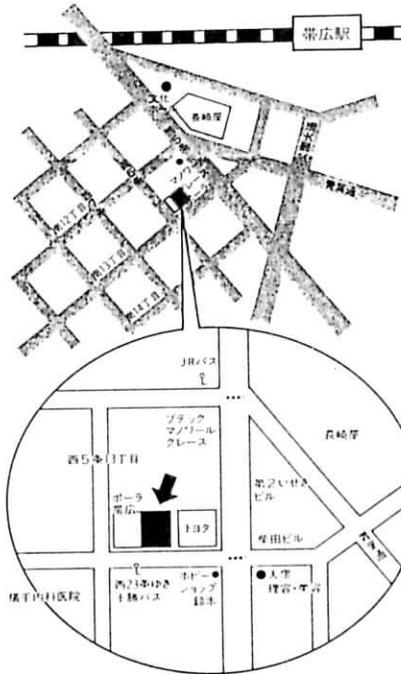


はぐまじあい、たぐりあ北海道難病連

# ふれあ、帯広

【北海道難病連十勝支部】

患者自身による患者さんのための  
福祉機器ショールームです。



### 主な展示品

- 特殊ベット
- 電動ベット
- 床ずれ防止器
- 車椅子
- 歩行器
- リハビリ用品
- つえ各種
- ポータブルトイレ
- 入浴用品
- 視覚障害者用品
- その他各種

福祉制度の利用も可能です。

- 日常生活用具
  - 補装具
  - 厚生年金車椅子
- ご病気のことや、福祉制度のご相談もお待ちしております。



### 加盟団体

(個人参加難病患者の会)あすなろ会  
再生不良性貧血患者と家族の会  
全国筋無力症友の会北海道支部  
全国膠原病友の会北海道支部  
全国心臓病の子供を守る会北海道支部  
全国二分骨椎症児(者)を守る会北海道支部  
全国パーキンソン病友の会北海道支部  
胆道閉鎖症の子供を守る会北海道支部  
日本オースミ協会(人工肛門・膀胱)北海道  
日本てんかん協会(波の会)北海道支部  
日本リウマチ友の会北海道支部  
北海道肝臓友の会  
北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会  
筋ジストロフィー部会  
北海道後縦帯骨化症友の会  
北海道小児会  
北海道腎臓病患者連絡協議会  
北海道スモンの会  
北海道腎臓小脳変性症友の会  
北海道側彎症児を守る会  
北海道低肺の会  
北海道パージャー病友の会  
北海道ヘモフィリア(血友病)友の会  
北海道ベッチェット病友の会  
未熟児網膜症から子供を守る会北海道支部

帯広市西5条南13丁目19-2 TEL (0155) 23-6602

HSK なんれんとかち No. 23

編集人 財団法人北海道難病連十勝支部 江口美生男

昭和48年 1月13日第三種郵便物認可

「ふれあい帯広」 ☎ 0155-23-6602 FAX 23-7071

1997年 6月10日発行 H S K通巻 303号 (毎月1回10日発行)

帯広市西5条南13丁目19-2 月~金10時~18時、土日祝日は休み

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子

なんれんは、赤い羽根

共同募金

の配分を受けています。